

【招聘講師による一般公開講義】

公開講義「開発社会学」の実施。

名古屋学院大学国際文化学部では、7月18日(火)13時20分～14時50分、本学名古屋キャンパス白鳥学舎曙館5階503教室にて、一般公開講義「開発社会学(担当教員/佐竹 眞明 国際文化学部教授)」を行います。講義では、国際協力団体「イカオ・アコ」の倉田 麻里氏と川瀬 理恵氏を招き、フィリピンのネグロス島でマングローブの植林活動に携わってこられた現地活動の話などを伺います。一般の方も入場無料・事前予約不要でご参加いただけます。

【講義の内容】

この講義は、国際協力を現場の実践の中から学ぶのが趣旨です。民間の立場から、フィリピンの環境を保護するために、マングローブの植林活動をしてきた「イカオ・アコ」の活動の趣旨、活動の経緯、そして、成果を伺います。そして、私たちができることは何なのかを考えます。



【イカオ・アコとは】

イカオ・アコ (Ikaw-Ako) とは、フィリピンの言葉で「あなたとわたし」という意味です。イカオ・アコは、フィリピン・ネグロス島でマングローブ林や熱帯高地林の植樹事業を行っている環境 NGO で、1997 年に活動を開始し、毎年 3、4 回、植樹ツアーを実施しています。2015 年に累計 100 万本の植樹を達成し、2025 年までに 200 万本を目指し活動を継続しています。活動は、常に現地の行政、大学、地域コミュニティと共同作業で行っており、マングローブの苗木は、植樹の際に芽生えた友情とともに、現地の環境保護団体や学生たちが守り育てています。マングローブの植林活動から始まった団体ですが、現在の活動は、環境教育・持続可能な発展のための教育・エコツーリズム・有機農業・先住民族の支援・女性の職業支援・フェアトレード・オーガニックカフェの運営・国際協力研修センターなど、多岐にわたっています。

【講師プロフィール】

■ 倉田 麻里 (くらた まり) 氏  
環境 NGO イカオ・アコ 執行理事。  
2008 年からフィリピンに滞在し、  
正規職員として活動を継続。



■ 川瀬 理恵 (かわせ りえ) 氏  
環境 NGO イカオ・アコ ボランティア。  
2016 年から 1 年間インターンとして  
フィリピンに滞在。



公開講義「開発社会学」

- 開催日時 : 2017 年 7 月 18 日(火) 13:20～14:50 (開場 13:00)
- 開催場所 : 名古屋学院大学名古屋キャンパス白鳥学舎曙館 5 階 503 教室  
(〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町 1 番 25 号)  
※地下鉄名港線「日比野駅」、名城線「西高蔵駅」徒歩約 8 分 駐車場はありません
- 定 員 : 50 名程度 (入場無料・事前予約不要)
- 主催/担当: 名古屋学院大学国際文化学部 / 佐竹眞明 教授